



笑顔と手しごとから生まれる フェアトレードのフェルト

山に囲まれたネパールのフェルト工房からは今日も「ナマステ！」の元気な声が響きます。

明るい笑顔で挨拶を交わし合いながら、女性たちは石けんの泡をたっぷり使って、色とりどりの羊毛を手際よく形にしています。

作業場には活気が満ち、時に冗談が飛び交い、笑い声がふわっと広がる。力のいる工程では男性スタッフも自然に加わり、和気あいあいとものがくりが進んでいきます。

ここでは国の定めた最低賃金が守られ、20年以上働き続けるベテランも多数。まだまだ正式な就労機会が少なく労働力人口の30%にも満たないネパールの女性たちにとって、この工房は安心と誇りのある貴重な働き口であり自分の居場所でもあります。

化学物質を含まない、無香料のやさしい天然由来石けんと高品質なニュージーランド産ウールを使い、肌にも地球にも負担のないものづくりをしています。

「みんながいるから、この会社がある」——そう語るオーナーの言葉どおり、人の力とぬくもりが、この工房のものづくりを支えています。働けるということの意味や暮らしについてハッと考えさせられるような、本当にやる気に満ちた笑顔溢れる工場から生まれた優しい品々です。



型を使い丁寧に羊毛を圧縮しながら同じサイズ、形の円形鍋敷を見事に作っています。



1日10万個作るというポンポンは重さも決められています。手作業とは思えない程の均一なボールたちがすごい速さで作られています。



フェルト製品の天敵は湿度。6~7%の湿度に抑えるようチェックしながら乾かしていきます。



絵を描くように一針一針羊毛を刺して様々な模様を作っていきます。

